

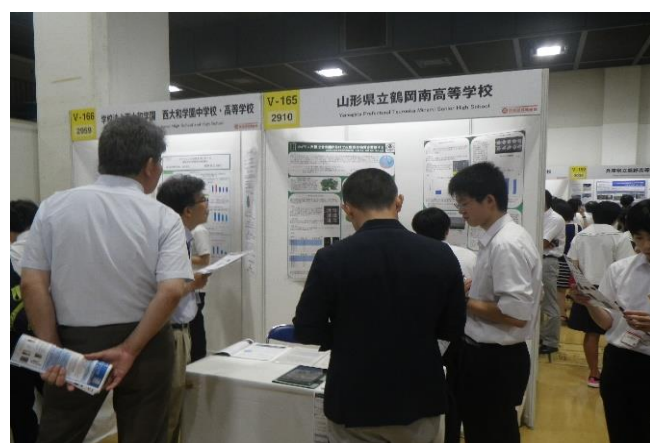
SSH 通信

「TSURUOKA SCIENCE CLUSTER」におけるSSH活動の深化による科学技術の発展を担う「人財」の育成

第33号(令和元年11月)

令和元年度SSH生徒研究発表会

8月7日～8日に神戸国際展示場において令和元年度SSH生徒研究発表会が行われました。国内外から約240校の学校の生徒が集まり、本校からは岩城朋希君（3年1組）、佐藤昌紀君（3年2組）、黒沢立亮君（2年1組）が参加しました。3名は「カイワレ大根は音を聞き分けて生理活性物質を蓄積する」というテーマでポスター発表をしました。残念ながら賞はいただけませんでしたが合計6時間30分のポスター発表を3人がそれぞれ説明をするというスタイルで多くの人に研究内容を分かりやすく伝えていました。特に大学関係者や高校の教員の方に多く集まっていたいただき、今後の研究の手法や研究の進め方など、より具体的なアドバイスをいただくことができる貴重な体験をすることができました。



第43回全国高等学校総合文化祭 自然科学部門

7月27日～29日、佐賀県佐賀市にて開催された第43回全国高等学校総合文化祭に科学部3年生4人が参加しました。「清川だしとフェーン現象の関係」というテーマで発表をしました。発表後にはこの内容に興味を持った学校法人河合塾教育研究部の方からお声がけいただき、本研究を「高校生応援サイトみらいぶ」に掲載させてもらいたいと申し出がありました。研究内容の詳細は <https://www.milive.jp/live/19sobun/> にアクセスしてみてください。

3年3組 齋藤美尚

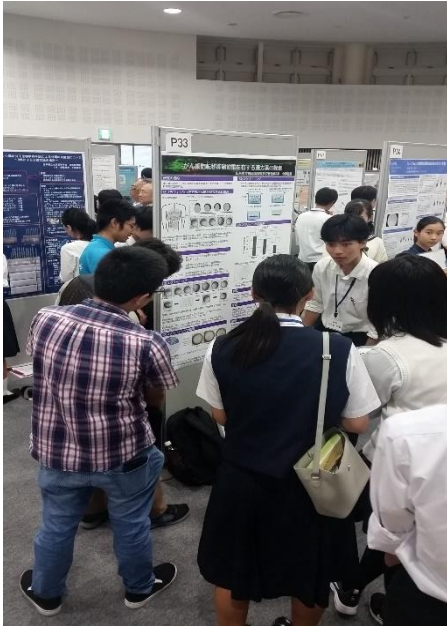
今回の総文祭では自分たちの研究した内容をしっかりと伝えることができましたと思います。賞をとることは叶いませんでしたが、多くの人たちの前で発表したり、全国の高校生と交流するというのは貴重な機会であり良い体験になりました。



第9回高校生バイオサミットin鶴岡

7月29日～31日に鶴岡メタボロームキャンパスにて開催されました。全国から集まった高校生によるバイオをテーマとした研究発表が行われました。本校からは慶應義塾大学先端生命科学研究所特別研究生の6名が参加、うち2名が発表しました。結果は以下の通りです。

「成果発表部門 鶴岡市長賞 今野裕貴、計画発表部門 審査員特別賞 石川愛莉」



2年2組 今野裕貴

今回のバイオサミットは研究成果の発表、計画の発表、一般参加（ポスターセッションを見て回る）、の3つの部門があり、私は成果発表部門で参加した。まず1日目に予選が行われた。発表者のところには4人の審査員が回ってきて、それぞれ評価してもらう。実際は4分間の発表よりも、その後の質疑応答の2分間のほうが不安だった。第一線で活躍される研究者の方々が様々な角度で切り込んで質問をしてくるので、発表は全く気を抜けなかった。こうして1日目終了した。次の日の朝に決勝進出のメンバーが発表された。祈るような気持ちでその時を待ち、名前を呼ばれた時は涙があふれてきた。決勝での発表は皆白熱しており、終わったあとは大きな達成感を感じることができた。最終日の表彰式で名前を呼ばれた時は安堵の気持ち半分、大臣賞を逃した悔しさ半分であった。来年また挑戦し、今度こそ大臣賞を取りたい。

日本植物学会第83回大会高校生ポスター発表

9月15日に東北大学川内北キャンパスにおいて日本植物学会第83回大会高校生ポスター発表に参加してきました。農学から遺伝学まで幅広い約35テーマの発表があり、本校からは黒沢立亮君（2年1組）と徳田朱音さん（2年1組）が参加しました。「虫の咀嚼音の植物に与える影響について」というテーマでポスター発表をしました。発表時間が45分間と非常に短い中で、2名とも一生懸命に研究内容を伝えていました。閉会式の時の学会主催者講評の中で本校の研究が引用されていたことなどから、発表内容の面白さを伝えることができたと感じましたし、様々な興味深い発表がありましたので今後の参考にしたいと思います。



2年1組 黒沢立亮

今回は「音が植物に与える影響について」ポスター発表を行いました。日々の研究の成果を発表することができて嬉しいと思うと同時に、研究方法やポスターの作り方、発表の仕方などの参考になる高校生の発表が多く、自分の伸びしろも感じることができた学会でした。また、今回の発表では植物学の専門家や高校生から数多くのアドバイスや意見を頂くことができたので、これからの研究に役立てていけるように更に研鑽を重ね、研究を進めていきたいです。

第2回鶴お菓子まつり

9月23日にマリカ広場とFOODEVERを中心に第2回鶴お菓子まつりが開催されました。地域活性化ゼミの17名が企画から運営まですべてを行い、当日は400人を超える方々が来場し、様々な企画を楽しんでいきました。

2年1組 伊藤杏

私達17名は「鶴お菓子まつり」を自分達で企画し、運営しました。6月末から各高校や各お菓子屋さんなどとやりとりをしながら進めてきました。夏休み明けにはチラシを作ったり、協賛をいただいたり、幼稚園・保育園にぬり絵の協力をお願いに行ったりと、今、思うともっと早くから準備すべきだったと多くの反省点が出てきます。それでも駅前商店街の方々や市役所の方々から様々な面で協力していただきながらなんとか当日を迎えることができました。大人達の中で知らないことだらけの私達でしたが当日来場してくれたお客様の楽しそうな様子を見て、救われた思いがしました。大変なことも沢山ありましたが、大きなことを成し遂げたこと、身をもって社会勉強ができたこと、鶴岡の現状を感じることができたこと等数え切れないほどの収穫がありました。関わっていただいたすべての方々に感謝します。本当にありがとうございました。



東北地区高校生SDGsセミナー2019

8月6日にTKPガーデンシティ仙台にて持続可能な地域循環共生社会形成に向けた研修が行われ、本校からは地域活性化ゼミの3名の生徒が参加しました。東北地区の高校生とお互いの実践例を発表し、意見交換を行いました。

2年4組 菊地優衣乃

私は地域の課題探究に取り組む東北地方6県12校の高校生が集まる「東北地区SDGsセミナー」に参加させていただきました。はじめは「SDGs」のことは全くわからない状態で参加して大丈夫だろうか？という不安がありました。しかし、説明を聞き、私達が鶴南ゼミでテーマとして扱っている「地域活性化」もこの「SDGs」に含まれていることがわかり、身近な課題であり、誰もが考え、行動につなげることができるものであると感じました。各地域で課題としているものは違いましたが沢山の人の考えに触れることができ、良い体験となりました。



8月13日～21日の期間、新潟県総領事館主催の「山形県青少年訪中団」に選ばれた2年生4名が山形県の代表として中国に渡りました。日本と中国の若い世代が交流し合い、日中友好の絆を未来に向けて、より強固なものになるようにという願いから行われた交流事業。上海、大連、ハルビン、北京を訪問し、各地の博物館や美術館などで中国の歴史や文化に触れた他、大連第十三高校、ハルビン音楽学院で同世代同士の交流も行われました。また、大連市や黒竜江省の関係者の方々との懇談、山形県ハルビン事務所の見学などを通して日中交流を行いました。北京大学では、一昨年本校を卒業して東京外国語大学に入学し、8月に北京大学に短期留学していた先輩も加わったキャンパス案内なども行われ、充実した時間の中で中国の「今」に触れてきました。

2年2組 倉部絢乃

7泊8日の旅は予定がぎっしりで、とてもいい経験を積むことができました。大連の高校生と交流した際、英語が通じない時があったので、これからは中国語も話せるようになる必要があると思いました。北京大学では高校の先輩に校舎を案内してもらいました。大連の美術館に展示されていた写真の題名が個性的であったこと、ハルビンのデパートにあったスケートリンクなども印象に残っています。行く前は「治安が悪い」と思っていたが、実際は治安が良く、ごみの分別も厳しくしているとのこと。思ったよりも発展していると思いました。



2年4組 佐藤かれん

人が多い、英語が通じない、割り込みが多い、ネオンがきれいなど、一つひとつが新鮮で印象的でした。マイナスの印象と捉えられるものもありますが、人口世界一の中国では、英語が通じなくても生きていけるだろうし、譲り合っていないはなかなか前に進めません。中国を悪く言う人もいますが、背景にある歴史や文化を知らないだけではないでしょうか。物事を多面的に見ることの大切さを感じました。



2年3組 阿部優月

将来、国際関係に携わりたい私にとって、学ぶことが多かった旅でした。実際に訪れ、訪問前に抱いていたイメージと変わらなかったことありますが、違うところがほとんどでした。素晴らしい歴史や美しい伝統音楽、料理のおいしさに感動し、出会った人がみな親切にしてくれたのも印象的でした。留学している人たちのお話を聞いたのも、進路を考えるうえで参考になりました。今私は中国にとっても好印象を持っており、「活気がある」と強く感じています。国全体が良い方向に成長しているようなので、世界的にもっと重要な存在になると思います。

2年5組 齋藤胡々

訪問する時は、中国に対して「近くて遠い国」という感じを抱いていましたが、今の私にとって中国は「恋しい国」です。人々の温かさ、存在が近くにある感じがとても好きになりました。

意思疎通が大変なところはありましたが、私が「謝謝」と言えば笑顔で頷いてくれ、言葉は通じなくても心を通わせることができると実感しました。

